



A 学校教育目標と指導・支援に係る令和2年度の重点事項

学校教育目標…… 児童生徒一人一人が、自立と社会参加をめざして、その個性・能力を調和的に高めていくための主体的な行動力を身に付ける  
今年度重点事項…… 3観点「みつける」「つたえる」「つくる」による教育実践の推進

生きる力（確かな学力、豊かな人間性、健康・体力）

「学びに向かう力・人間性等の涵養」「知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力等の育成」

① 社会・文化的、技術的ツールを相互作用的に活用する能力

- ・ 言語、シンボル、テキストを活用する能力
- ・ 知識や情報を活用する能力
- ・ テクノロジーを活用する能力

② 多様な集団における人間関係形成能力

- ・ 他人と円滑に人間関係を構築する能力
- ・ 協調する能力
- ・ 利害の対立を解決する能力

③ 自立的に行動する能力

- ・ 大局的に行動する能力
- ・ 計画を作り、実行する能力
- ・ 権利、利害、責任、限界、ニーズを表明する能力

※ ①～③：参考 OECD 「The Definition and Selection of KEY COMPETENCIES」

B 「何ができるようになるか」

学校教育の基本

- ① 学習したことや体験したことを生かして学ぶこと
- ② 多様な考えを受け入れ、協働的に学び、自分の考えをより良くすること
- ③ 当面する問題に向き合い、課題を見出し、主体的に判断して解決すること



C 「何が身に付いたか」

学習評価による指導・支援の改善

- ① 既習事項や体験を結びつけて捉え、新しい考え方ややり方などを見つけること
- ② 自分の考えを持ち、学び合いをとおして、自分の考えを広げ、高めること
- ③ 課題解決に向けた計画を立案し、計画を実行したり、変更したりすること

子どもの実態

D 「子どもの発達をどのように支援するか」

特段の配慮を必要とする子どもへの指導

- 個に応じたきめ細やかな指導
  - ・ 一人一人の教育的ニーズの把握
  - ・ 外部専門家と連携した支援の充実
- チーム対応
  - ・ 「一人の教師はすべての子どもの担任」
  - ・ 校内指導研修による専門性の維持・向上

目指す子ども像の実現

E 「子どもは何を学ぶか」

教育課程の編成

- 教科別・領域別の指導、教科等を合わせた指導
- 【A課程】一般就労、福祉的就労に向けた働く力の向上に係る学び、【B課程】日常的な生活力等の向上に係る学び、【C課程】自立活動を中心とした学び

F 「子どもはどのように学ぶか」

教育課程の実施

- 年間指導計画、単元・題材計画の充実
- 個別の教育支援計画、個別の指導計画を活用した学習効果の高い授業づくり
- 教育活動全体を通じた「みつける」「つたえる」「つくる」の実施

G 「実施するために何が必要か」

指導体制等の充実、家庭・学園・地域等との連携・協力

教材研究・開発の時間の確保／子どもと向き合う時間の確保／直後プランの作成／専門アドバイザーを軸とした外部専門家との連携／迅速かつ適切な初期対応・組織対応／温かい学年・学級経営／家庭・学園・地域等との情報共有と連携・協力／学びの連続性を意識した小中高の各部連携／校内研修等の充実

H 「安心・安全を守る」

- ・ 感染症やアレルギーへの万全な安全対策
- ・ 安全教育・防災教育の充実
- ・ 認め合い、安心して過ごせる教育環境の整備

I 「開かれた学校づくり」

- ・ 説明責任を果たし、情報を共有できる環境
- ・ 地域資源を生かした学校づくり
- ・ 学校便り等による積極的情報発信